

(様式1)

自己評価及び外部評価結果

作成日 2022年 3月 30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2292300379		
法人名	医療法人社団 弘仁会 中根クリニック		
事業所名	グループホーム かりんの花		
所在地	〒416-0903 富士市松本 134-1 (電話) 054-60-9000		
自己評価作成日	2022年3月30日	評価結果市町受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
-----------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・ご利用者様に対するの接遇は、どこの事業所より、きちりちり行っています。ご利用者様の尊厳が守られるように、ご利用者様のお話を傾聴し、ケアに活かしています。「できない、やれない」ではなく、どうしたらできるか？を考え皆で悩みながらケアを行っています。正解のない介護に一個一個答えが出していけるようなチームを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己評価	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況
I. 理念に基づく運営				
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型施設として、地域の方に利用しやすい環境を、理念に基づき提供している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響により地域との関りが減っています。運営推進会議の際に後援とされた時に参加できるように状況を確認している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の理解を深めて頂くために、交流会等企画していたが、新型コロナウイルスの影響で実践できなかった。今後実践出来るように努める。	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染対策により、参加人数の制限により少人数での開催を行った。地域の状況・市への対応等情報提供の場として活用している。	今後家族や地域の方々とのやりとりを通して、ご意見のサービス向上に活かして頂きたい。ZOOM等オンライン会議システムなどを活用しコロナ禍でも安定的に会議が開催出来るような方法も是非検討して頂きたい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通じて、事業所の状況を伝えられている。 推進会議の中で施設案内を区内回覧を提供し実施できた。	事業所として特に力を入れていては又工夫をしているサービスの提供方法等を教えてほしい。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人として身体拘束廃止のための取り組みをしている。 身体拘束について、代表の方をはじめとして施設全体で理解を進めているとのことで、今後も継続して頂ければと思います。	研修や委員会を通じ、事業所として日々の介護に置いても反映されるよう努めて頂きたい。 身体拘束防止に関しては、常に啓蒙が必要だと考えております。現在も研修などを継続していただければと思います。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待が行われないよう、研修・指導・環境作りを行っている。状況に応じて職員一人一人に役割が分かからないような業務の作成をおこなっている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人研修等を活用し自立支援・成年後見人制度を学んでいる。ただし、全てこたえられないほどの知識がない為、今後も継続し研修等を実施する。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の説明を行い、後日不明な点や納得が出来ないことなども、迅速に対応させて頂いています。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員らびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時やお便りにて、ご利用者様の普段の様子をお伝えさせて頂きます。またご家族様、ご利用者様の意見は、会議等にて出来る限り対応させて頂いています。		利用者家族への情報提供や情報交換が積極的に行えていると思います。	今後も現在の状況を維持していただければと思います。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員面談を実施し、職員の不安・不満など確認しています。		推進会議資料に日頃の努力が読み取れま す。コロナ感染拡大により職員の体制を維持し、職員の声が発言に反映されるように今後よろしくお願致します。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課等個々の評価をしっかりと評価している。給与に反映は管理以上で評価している。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人の能力に合わせ研修に参加している。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	webでの研修・連絡会に参加している。			

自己外部	項目	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりを努めている	ご利用者様、ご家族様のニーズに合わせたケアの提供をしている。			
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている	契約段階で、ご利用者様ご家族様の問題を解決できるように、提供内容を提示し関係づくりに努めている。			
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネがしっかりとアセスメントを行い、その時必要な具体的なケアをケアプランに落とし込んでいる。			
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	馴染みの関係性が作れるように、出来る限り同じ職員が対応できるように、専従の職員を配置している。			
19	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナにより面会等が中止になっていいたが、ご利用者様の様子を心配されないように、お手紙や電話等で伝えている。			
20	(8) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所様や馴染みの顔に会えるようにお声掛けをさせていただいている。	コロナ禍でも地域とのつながりを持とうとする活動はととても素晴らしいと思います。今後とも感染対策を行いつつ、継続していただければと思います。	地域の方々との挨拶や、職員の方々とも馴染みの関係づくりのもと、利用者が安心して生活を送れるよう留意していただきます。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係性を築いていただくため、職員が状況見て対応している。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、同じように相談や支援が出来るようにお伝えし、気軽に来訪出来るような関係性を築くように努めている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向に添えるように努力している。			本人の意向の確認が難しいケースも多いと思いますので、そのような場合には家族からの聞き取りなどを行い、周囲がチームとなり本人の意向を推奨して頂ければと思います。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者の生活環境を変えず、生活を継続できるように努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を確認し変化に気づくように努めて、残存機能を活用するように努めている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各関係者と意見を出し合い、ご本人様が安心して過ごせる環境を作る為ように努めている。			今後も周囲が本人を支えるチームとなれるようお願いいたします。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の情報を共有し、ケア・計画の見直しに努めている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様のニーズに合わせて、柔軟な支援が行えるように努めている			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かに暮らすを楽しむことができるよう支援している	安全で豊かな暮らしが提供できている。また、一人ひとりに地域資源が地味出来るように努めているが、まだ十分な提供が出来ていないと言えない。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療法人の為、医療連携は適切に支援している。ご家族様にも随時報告し、受診の必要性がある場合は相談させて頂いている。		かかりつけ医を家族や利用者本人が選択できる体制づくりは素晴らしいと思います。今後も継続して頂ければと思います。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週小規模多機能の看護師が利用者様の状態を確認している。必要に応じて適切な支援が行っている。			
32		○入院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は必ず、家族含め病院との連携を密に行っている。必要に応じて書面又は面談で情報交換を行っている。		入院時に医療関係者との密なやり取りが行えているとの事なので今後も継続して頂ければと思います。また、入院退院を通じ恵秒委員との顔の見える関係を構築して頂ければと思います。	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階でDrよりリムンテラを行い、本人・ご家族様の意向に添えるよう終末期のケアを話し合っている。事業所で出来ることを会議等を使い、支援方法を話し合っている。		医師からのICや看取りに向けての話し合いがしっかりと行えていると、今後もこのような取り組みは続けて頂きたいと思えます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が救命救急の研修を実施。AEDの訓練を受けています。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を行っている。また毎月防災委員会にて会合を行い、防災に関する情報共有を行っている。		防災訓練を年2回実施。風水害マニュアルを作成している。避難訓練や話し合いの中でBCP等の内容をより細かく実践に近いものにして頂ければと思います。	引き継ぎ、地域防災訓練への参加をご検討いただき、地域との協力体制を築いて欲しい。避難訓練や話し合いの中でBCP等の内容をより細かく実践に近いものにして頂ければと思います。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の尊厳を守る為、言葉使い態度に気を付け敬語で話し、ご利用者様の話には傾聴している。	利用者の尊厳を守るために職員全体でコミュニケーションの方法を検討されているようなので今後も継続して取り組んで頂きたい。	尊厳を守るための職員の対応などは啓発を続けていくことが必要と考えますので、今後も同様の対応が行えるように研修などを続けて頂ければと思います。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の思いや希望を聞きだせるような工夫を行い、ご本人様の希望が叶うように努力している			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	業務優先・全員が同じことを行うのではなく、本人に合った生活を過ごしていただく為の支援を心掛けている。			
39		○身だしなみやおしゃれやれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月理美容にてご本人様の希望をカットされたい。カラーパーマも同様に希望があれば行っている。衣服が同じものだけを繰り返さることをしないように努めている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	いつもと同じ食事だけでなく、イベントや季節の食事を楽しんでいる。季節感を実感している。	行事については月ごとに担当職員を決めて計画しており、誕生日や季節をからめた食事の提供等を実地している。 今後も食事が楽しめ、季節感を感じられるような取り組みを継続して頂ければと思います。	利用者の声にも耳を傾け、職員の方々と共同で楽しめる活動などを計画していただきたい。コロナ禍でマスクを外す食事の支援は、職員の方も気を遣う所だと思いますが、感染対策を行いながら利用者の方が楽しめる食事の提供などをお願いします。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の栄養状況で、Diet相談補助食品等で健康状態を把握している。水分摂取には気を付け、一定量より減らないように工夫を施し摂取できるよう支援している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必要な方には歯科医師に相談し、クリーニングを施行していただいている。日常での口腔ケアに関して、必要に応じて職員が仕上げを行い清潔が維持できるように支援している。			

自己	外部	項目	外部評価		
			自己評価 実践状況	実践状況	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄が継続できるよう、その方にあつたパターンで声掛けを行っている。おむつは使用している方でも、日中で外せる時間は紙パンツを使用するなどの支援を行っている。	実践状況 排泄パターンを把握し声掛けを行ったり、オムツの時間を減らすなどの取り組みは素晴らしいと思います。今後も継続していただければと思います。	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬に頼らないように、水分量や食事に気を付けるよう努力している。入浴維持等腹部マッサージなど支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の場合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	ご利用様のタイミングや時間帯に合わせて入浴できるように努め、個々にあつた入浴を支援している。	入浴時間帯は午前中1人あたり30～40分の入浴時間(実地指導時)の利用曜日を決めずに利用者の希望で入浴できる取り組みは素晴らしいと思います。今後も継続して頂ければと思います。	入浴支援が、利用者にとってリラック スでき、職員の方々と話す機会が持 てる時間となると良いと感がある。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間までの時間を大切に、ご利用者様一人一人が好きな時間で入床出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様の薬の目的や副作用等は薬情等を確認し服薬に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に合ったレクや生活リハビリを提供し、日々の生活が業務的にならないよう支援に努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域のみなさんと協力しながら出かけられるよう支援している	ご家族様・ご本人様の希望を伺い外出できるよう支援を行っている。(コロナ拡大中は中止している)	コロナ禍で積極的な外出支援が難しいとは思いますが、別項でお伺いしたような取り組みの継続をお願いします。	敷地内や近所の散歩等、3密対策の中での支援を継続してほしい。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物と一緒に出掛け、お金を使う機会を設けている。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様・家族様の連絡が途絶えないよう支援に努めている。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間の環境整備に努め、室温の調整や換気を行い、居心地の良い空間を作ろうと努力している。	共有の空間は作品等の装飾で季節感があり、清潔に保たれていた。 環境面の調整は、過ごしやすいようになり多くの面で検討頂いているようなので、今後とも継続して頂ければと思います。	新規入居者についても、以後ごちの 良い生活環境となるよう、支援していただきたい。家族などの意見も取り入れ、個別性を持った環境調整を今後 も津図けて頂ければと思います。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ひとりひとりが共有空間で過ごせるよう配慮している。			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個別によって偏りがあるが、馴染みの物を居室に置き、今までの生活の継続が出来るように、ご家族様に説明し協力していただけるよう努力している。	共有の空間は作品等の装飾で季節感があり、清潔に保たれていた。 環境面の調整は、過ごしやすいようになり多くの面で検討頂いているようなので、今後とも継続して頂ければと思います。	新入居者についても、以後ごちの 良い生活環境となるよう、支援していただきたい。家族などの意見も取り入れ、個別性を持った環境調整を今後 も津図けて頂ければと思います。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した支援ができるように支援させていた だいてる			

V. アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23、24、25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18、38)	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36、37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

61	<p>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30、31)</p>	<input type="radio"/>	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
62	<p>利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)</p>	<input type="radio"/>	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
63	<p>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9、10、19)</p>	<input type="radio"/>	<p>①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない</p>
64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：9、10、19)</p>	<input type="radio"/>	<p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)</p>	<input type="radio"/>	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>

66	職員は、生き生きと働けている (参考項目 1 1、1 2)	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の 2/3 くらいが <input type="radio"/> ③職員の 1/3 くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見ても、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の 2/3 くらいが <input type="radio"/> ③利用者の 1/3 くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見ても、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の 2/3 くらいが <input type="radio"/> ③家族等の 1/3 くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

目標達成計画

事業所名

作成日

2022年 3月 30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	(4)	事業所として特に力を入れている又は工夫をしているサービスの提供方法等を教えてほしい。	より、市町村との連携が取れるようにしていく。	運営推進会議以外でも、連絡を取り、情報収集や事業所のアピールに努める。	6か月
2	(8)	地域の方々との挨拶や、職員の方々とも馴染みの関係づくりのもと、利用者が安心して生活を送れるよう留意していただきたい。	現在よりも、向上させていく。	引き続き、ご近所様や馴染みの顔に会えるようにお声掛けをさせていただく。 コロナの中でも、できることを考え工夫していく	6か月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること

(様式4)

サービス評価の実施と活用状況

事業所の外部評価の実施と活用状況について振り返ります。

「目標達成プラン」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活用状況についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	① 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした。
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議でサービス評価を説明するとともに、どのように評価機関を選択したかについて報告した
		<input type="radio"/>	⑤ その他 (コロナのため、書面で説明を行った)
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	① 自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意思統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤ その他 ()
3	外部評価 (訪問調査当日)	<input type="radio"/>	① 普段の現場を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③ 対話から、事業所が努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④ その他 ()
4	評価結果 (自己評価、外部評価) の公開	<input type="radio"/>	① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③ 市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤ その他 (コロナのため対面で難しく、書面にて行った)
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	① 職員全員で次のステップに向けて話し合い、「目標達成プラン」を作成した
		<input type="radio"/>	② 「目標達成プラン」を利用者、利用者家族や運営推進会議へ説明し、協力やモニター依頼した (する)
		<input type="radio"/>	③ 「目標達成プラン」を市町へ説明し提出した (する)
		<input type="radio"/>	④ 「目標達成プラン」に則り、目標を目指して取り組んだ (取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤ その他 ()